

匝瑳市教育委員会平成24年12月定例会会議録

匝瑳市八日市場ドーム選手控室

1 期 日 12月19日(水) 開会 午後3時30分 閉会 午後4時50分

2 出席委員 委員長 川内 恵美子
委員 平山 延樹 委員 竹澤 実
教育長 池田 竹四

3 出席職員 学校教育課長 吉川 昇 生涯学習課長 佐藤 和
公民館長 今井 嘉則 図書館長 横町 昌之
給食室長 岩澤 薫

4 委員長挨拶

みなさん、こんにちは。今年も、後何日かで残り少なくなりました。12月の定例教育委員会を始めます。先週12日のニュースの中に、昨年実施した国際学力調査の結果、「小学校4年生の算数・理科が過去最高点を取った。」という記事がありました。しかし、学年が上がると勉強の意欲・関心の低下が目立ち、小4の算数が好きは66パーセントから中2では39パーセントに、理科は83パーセントから53パーセントに下がり、中2の場合は数学・理科とも国際平均より20ポイントも低いとありました。また、最高水準とされる62.5点以上の割合も低く、理由のひとつに、専門家は「ゆとり教育」に慣れ、簡易な内容を知って勉強したつもりになっていること、日本の保護者が他国より子どもの学習に対して関心が薄いことを指摘しています。数学の勉強が楽しくて自信のある子は、日本では中2になると2パーセントで、国際平均の14パーセントに比べ低くなっています。日本の将来のためにも、数学・理科の先生方は子どもの関心と興味を引く、解りやすく楽しい飽きない授業内容の工夫をして欲しいと思います。本日は、報告事項が2件、議案事項が2件ございます。よろしくご審議ください。

5 前回会議録の承認(前、11月定例会分)

川内 恵美子 委員長
平山 延樹 委員

6 議事録署名人選出(本、12月定例会分)

川内 恵美子 委員長
竹澤 実 委員

7 現況報告及び当面の方針

資料に基づき、各課館室長が11月1日から11月30日までの現況報告及び当面の方針について説明があった。

平山委員 給食室の報告に先月も食育に関する講習、研修があった。食育という定義が有るようで無いような、巾が広くてつかみきれないところがあるが、本来、食育というものは、家庭のしつけのなかでの教育と私は思う。家庭で家族がそろって食事をする割合が50パーセントを割り込んでいるという最近のデータもあり、家庭ではしつけのなかでの食育はむずかしい。そうすると、学校のなかで食育を進めていかなければいけないと考える。最近ではテレビ番組でも食事の安全性を考える、この食品は体のどこに良いとか、健康指向ということもあって食に関係する番組が非常に多い。雑誌で読んだが、中国のことわざで魚を1匹与えれば、その日、その人は食べることができる。魚の取り方を教えれば、一生その人は食べていけるという記事があった。これは生きる知恵を例えたものである。そうしてみると、食育ということが、家庭でできないということであれば学校で教えていく、冒頭の委員長あいさつであったが、学校の授業も、学年が上へいくほど数学、理科が好きだという子どもの数が減るといふ事は、やはり、ただ与えるというだけではなく、生きるための知恵、おもしろさもそうだが、そういうことを教えていかないといけないと感じて質問させていただいた。栄養士が学校へ行って栄養指導をされているが、地産地消、栄養の事、また食糧ということは環境にも関係する訳ですので、学校と連携して進めていってもらいたい。是非、室長からも学校に対して要望があれば教えてもらいたい。学校側としても食育を学校現場でどのように進めているのか教えてもらいたい。

学校教育課長 学校での食育、給食センターの栄養士との連携の例だが、報告のなかにもあるが、11月20日、八日市場給食センターに椿海小学校の家庭教育学級が保護者、生徒78名で訪れ、実際に給食を食べながら食育についての話をしている。簡単なレシピなども提供してもらい、食育を踏まえての子どもたちの健全な成長ということで指導していただいている。そういう部分では、学校からの要請、給食センターからの依頼も含めて、子どもたちに話していただく機会が多い。小学校のみならず中学校も同じである。委員のお話のとおり、家庭の中での食事の割合が心配される状況で、特に朝食を摂らない子どもが前からの調査等であり、数字的には100パーセントが摂っているというところまでにはなっていない。

家庭のなかでの食事は大変重要なので、それを将来のこととして中学生にきちんと教えることによって、将来に生かされるという指導を受けている。そういう状況で給食センターと学校は協力し合って動いていることになっている。

給食センター室長 学校の方からも栄養士に講師派遣がきており、授業の中で栄養に関することを授業展開している。委員のお話のとおり、実際、食育の内容は広い。給食センターとしては、栄養士の派遣と私たちが学校へ行って一緒に給食を食べながら、栄養士が食育に関する指導をしている。指導についてはその他の機会でも保護者、子どもがいれば必ず行う事となっている。

平山委員 家庭の中で家族と一緒に食事を摂る回数が減ってきている。子どもも親も違った時間に好きな物を食べる。例えば、学校帰りにコンビニの前でカップラーメンを足を組んで食べているなど見た目にも良くない生徒をたまに見かける。そういうところからエスカレートして、いろいろな所につながっていく可能性もある。改めて家庭での食事が大事であると感じる。

学校教育課長 食事は話をしながら楽しく摂っていく。学校現場では、幼稚園、小学校、中学校の学級のなかでグループをつくり、いろいろな話が出てくるような楽しい給食の場を設けている。そこに給食センターの栄養士が班を廻ってこのおやつはこういう栄養があるんだよというようなお話をしてくれる。そういうことを朝昼晩3回の食事のなかで、学校だけでも保証してあげて、子どもが大人になって食事をする時の楽しさが体験的に残らないと、自分たちが家庭を持った時にそうになってしまう。幼小中で成長レベルは違うが、そのなかで先生方がそれぞれ時間をとって指導して頂けると私たちは受け取っている。

竹澤委員 給食センター室長から、学校給食の衛生管理等における県の指導があった、また、ノロウイルス感染拡大予防のために、納入業者にお願いをしたという報告があった。適切な対応をされている訳だが、学校教育課長からお話のあったとおり、感染性胃腸炎の拡大のおそれもある。保護者への啓発のお願いをする、集中的にこの時期に手洗いの指導にあたるなどが考えられるが、今後、教育委員会として拡大を防ぐためにしている他の予防策はあるのか。

学校教育課長 ノロウイルスだけではなく、インフルエンザも含め校長会等でお願していることだが、まず手洗い、きちんと石鹸を使ってやっていただく。外の手洗い場等も、養護教諭等を中心として石鹸が無くなったら、必ず入れ替えて頂いている。それと、事前予防が大事なのでマスクの着用、インフルエンザだけではなく飛沫感染もあり、特に感染性胃腸炎ではもどしたのから移るので、生徒には手を触れさせず担任等が責任を持ってビニール手袋をして処理することなどを徹底している。2年ほど前に感染性胃腸炎の発生で保健所が入り、学校内を完全に消毒したという例もあり、全校長は十分わかっている所以对応は徹底して行っている。あと、

家庭からの連絡が早くないとだめである。兄弟関係で移ることがあり、片方が感染性胃腸炎だと診断された場合に、すぐに学校へ連絡していただかないと兄弟が学校へ来る事で拡散することが十分考えられる。そういう部分についても連絡を早めにする事などにも取り組んでいる。

竹澤委員 ノロウイルスにはアルコール消毒が効かないということであるが、塩素系のもので消毒しているのか。

給食センター室長 塩素を使うと機械、器具が傷むということもあり、一般的には使っていない。学校給食の衛生管理で給食センターから各学校へお願いしたが、万が一ノロウイルスが発生した場合の処置の仕方だが、食器をそのまま返してもらうと感染が拡散してしまう。再確認の意味で、そういう場合には別枠として出してもらうようお願いしている。別枠で出してもらった食器については、塩素消毒をしてから通常のラインに戻し、熱風消毒をすることになる。

竹澤委員 拡大防止のため努力されていることはよく分かった。学校教育課長からの話だと12月3日から18日にかけて感染性胃腸炎が51人と大変増えている。そのなかにはノロウイルスと診断された者はいるのか。

学校教育課長 学校からの報告は感染性胃腸炎のため出席停止ということで医者の診断を仰いだものはない。長くても1週間、大体3日ぐらいで回復している状況だ。

竹澤委員 今年は拡大が非常に危惧されるという新聞報道もある。ぜひ適切な対応をお願いしたい。

川内委員長 受験生を持つ親から、年末年始の公民館、図書館を開放できないかという問い合わせがあるが検討出来ないだろうか。

図書館長 管理規則では年末年始の休館が決まっており、夜についても9時までということで、警察、保護者、学校と共通意識を持ってやっている。通常の開館時間内であれば勉強に利用してもらいたいが、みなさんの共通意識もあることから規則を変えてまでも、開放していくことは難しいのではないかと考える。

(その他質問等はなかった。)

8 報告事項

報告第1号 匝瑳市教育委員会顕彰規程第10条の規定に基づき定める顕彰要領について

(生涯学習課長から説明があった。)

報告第2号 匝瑳市立八日市場公民館及び匝瑳市立八日市場図書館における防犯カメラ管理方針について

(図書館長から説明があった。)

9 議案事項

議案第1号 匝瑳市立学校職員服務規程の一部を改正する訓令について(案)

(学校教育課長から説明があり、審議の結果、承認された。)

議案第2号 匝瑳市育英資金奨学生の選考について(案)

(学校教育課長から説明があり、審議の結果、承認された。)

10 その他

○学校教育課長から、平成25年1月定例教育委員会の日程について1月25日(金)が提案され決定した。